

様式(細則 5-2)

令和 4年 12月 23日

浜田市議会議長

尾田 卓

様

議員名 牛 辰昭

調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和 4年 12月 20日 ~ 月 日
PM 19:00 ~ 21:00

2. 視察内容

「楽しい仕事を! ~ 農業の価値創造と持続可能な未来づくり」

3. 視察先

スマート・テロワール協会。

4. 調査経費

1,000 円

(経費内訳 円、 円)

5. 調査研究活動の概要

別紙にて。



研修会先、スマート・テロワール協会。

日時、12月20日、19時～21時、オンライン。

「楽しい」を仕事に！～農業の価値創造と持続可能な経営。

司会・進行：藻谷浩介氏

尾藤光一氏、尾藤農産社長。

十勝平野で、120haの広大な農地で、施肥などを最大限に抑え、微生物を活性化させる農法を実践。食品メーカーやスーパーから高級レストランまでを顧客に、修学旅行も受け入れています。

今日の食事を土から考える。土壌改良に5年かかり、微生物が土をつくることがわかり、土の中のミネラルバランスをとる事が芽室町の農業デザインという事が10年経ってわかった。現在、芽室農業未来塾で、若者に農業と経営を教えている。農業肥料高騰には、困っていない。悪代官（農協）の農業はよくない。農薬は、予防で使いジャガイモには使わない。

新村浩隆氏、(有)十勝しんむら社長。

しんむら牧場4代目牧場主。土作りで良い牧草を育て、環境

負荷を最低限に抑えた管理放牧で、牛乳や豚肉を生産。「無理して作らない、無理して売らない、その商品を一番必要としている顧客に売る。」を掲げて直販している。

二人は、地域内で循環再生できるものは、徹底的に利用し、コストを下げ持続可能性を高める。健康な生き物を育て、価値のわかる顧客に高価格で売り、生産者も消費者も元気になるという王道を歩んでいる。

藻谷浩介氏まとめ。

時代を超えたカッコいい農業者が必要である。

考察、牛尾昭。

肥料も飼料も高騰して、農家を苦しめている中、本来の土作りを極めて、悠々と農業経営をしている2人の生き様は、日本の全ての農業者に参考になる。見習うべきである。